

認知症サポーター勉強会交流会

別紙I


令和7年7月25日（金）午後1時30分～3時30分、ケアギルド（弥生2-15-13）で開催しました。
令和5年度と6年度に認知症サポーターステップアップ講座を受講修了した11名にご参加いただきました。



勉強会 介護サービスを利用している方に色々な話をきいてみよう！

★ ゲストのお2人とユアハウス職員によるトークセッション ★
『何をしている時が楽しいですか？』『通所先にはどのように通われていますか？』『好きな俳優はいますか？』参加者からの質問にも笑顔で楽しげにお答えいただきました。



牛乳パックジェンガ（ゲーム）で交流

参加者の感想

- ・ゲームを通して、楽しさを共感することで（相手への）認識が変わった。
- ・ゲストの方がとても楽しそうで明るい笑顔が印象的だった。
- ・多くの場合、認知症があってもなくても違いは少ない。

私達自身が抱えている認知症に対する先入観やイメージに気づき、認知症状があってもご本人らしく過ごしていることや支援者側が「困っているのでは？」と思うこともご本人は特に困難を感じていない場合もあることなどを振り返りました。



交流会 サポーターさん同士で語り合しましょう 😊

★ 3グループに分かれて、下記のテーマで意見交換を行いました。 ★

テーマ① 自身が認知症になったら、どんな社会や地域であってほしいか

- ・さりげなく接してくれる社会地域、困った時にちょっと教えてもらったり話を聴いてくれる人がいる。
- ・自分のことを受け入れてくれる地域、好きなことや趣味を継続したい。
- ・「私は認知症です」と言える地域を作りたい。
- ・自分が「幸せなんだ」といつも思えるような環境があったらいい。
- ・出来ることや得意なことを活かし、人の役に立ちたい。特性や多様性を認め合える社会がいい。

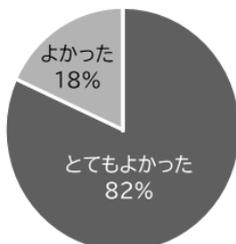


テーマ② 今後の勉強会や交流会で取り上げてほしいテーマ

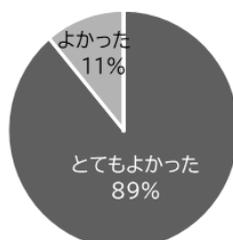
- ・家族の話、家族に対する関わり方や紹介できる社会資源を知りたい。
- ・認知症のある方と交流したり話す機会が欲しい。色々な説明より一番感じることもある。
- ・認知症のある方の対応について、多くの事例や工夫の引き出しを多く持ちたい。
- ・困っている人への声のかけ方や関わり方について。
- ・サポーター活動でうまくいった経験や失敗談、どのような思いでどのような関わりをしているか。
- ・子どもから青少年までの人と”認知症とは”という話し合いをしたい。

アンケート結果

勉強会の感想



交流会の感想



参加によりサポーターとしての意識の高まりや今後の意欲に繋がったか

